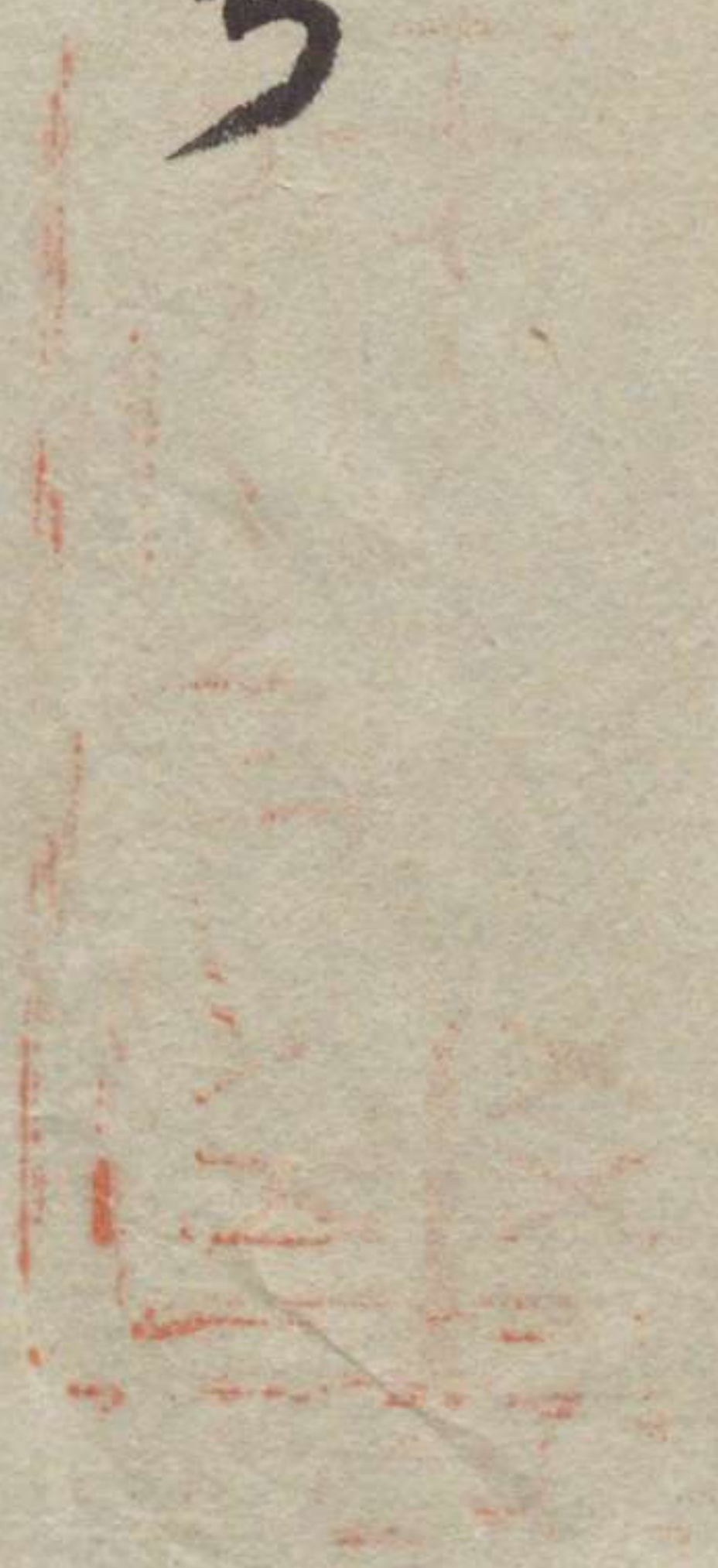


法律博士

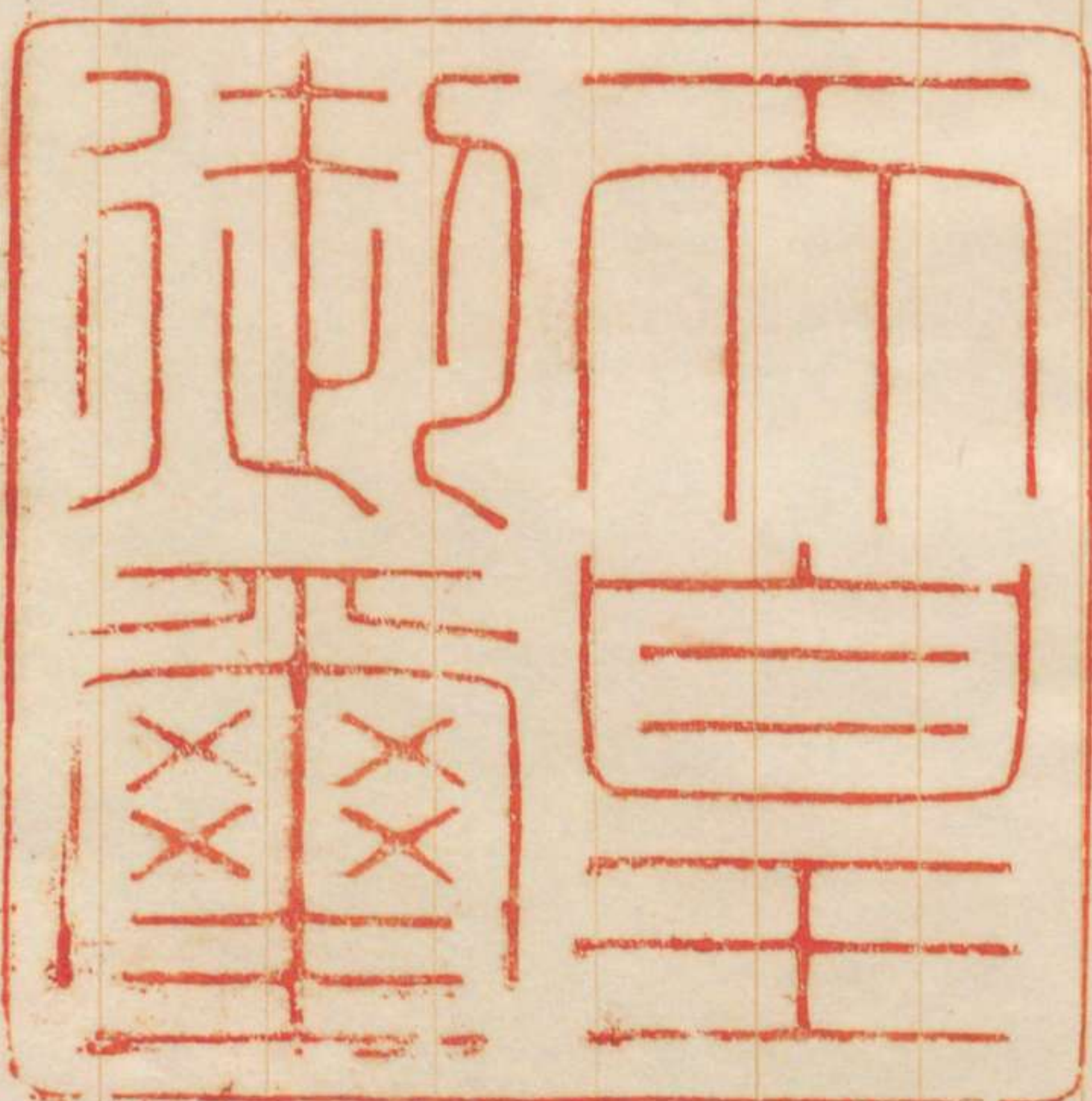


明治



朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル衆議院議員
選舉法改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布
セシム

睦仁



明治三十三年三月二十八日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
大藏大臣伯爵松方正義
内務大臣侯爵西鄉從道
陸軍大臣子爵桂 太郎
文部大臣伯爵樺 山資紀
外務大臣子爵青木周藏
遞信大臣子爵芳川顯正
海軍大臣 山本權兵衛
司法大臣 清浦奎五

農商務大臣

曾 補 荒 助

法律第七十三號
衆議院議員選舉法

第一章 選舉ニ關スル區域

第一條 衆議院議員ハ各選舉區ニ於テ
之ヲ選舉ス

選舉區及各選舉區ニ於テ選舉スヘキ
議員ノ數ハ別表ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 投票區ハ市町村ノ區域ニ依ル
特別ノ事情アル市町村ニ於テハ勅令
ノ定ムル所ニ依リ二箇以上ノ投票區

ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設クルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ投票ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キトキハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長ト看做ス

第四條 市町村長ハ投票管理者トナリ

投票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第五條 開票區ハ郡市ノ區域ニ依ル郡市長開票管理者トナリ開票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第六條 地方長官ハ選舉長トナリ選舉ニ關スル事務ヲ統轄ス

第七條 行政區畫ノ變更ニ因リ選舉區ニ異動ヲ生スルモ現任議員ハ其ノ職ヲ失フコトナシ

第二章 選舉權及被選舉權

第八條 左ノ要件ヲ具備スル者ハ選舉

權ヲ有ス

- 一 帝國臣民タル男子ニシテ年齡滿二十五年以上ノ者
- 二 選舉人名簿調製ノ期日前滿一年以上其ノ選舉區内ニ住所ヲ有シ仍引續キ有スル者
- 三 選舉人名簿調製ノ期日前滿一年以上地租十圓以上又ハ滿二年以上地租以外ノ直接國稅十圓以上

若ハ地租ト其ノ他ノ直接國稅トヲ通シテ十圓以上ヲ納メ仍引續キ納ムル者

家督相續ニ依リ財産ヲ取得シタル者ハ其ノ財産ニ付被相續人ノ為シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト看做ス

第九條 前條ノ要件中其ノ年限ニ關ス

ルモノハ行政區畫變更ノ為中断セラ
ルコトナシ

内 附

第十條 帝國臣民タル男子ニシテ年齡
滿三十年以上ノ者ハ被選舉權ヲ有ス

第十一條 左ニ掲クル者ハ選舉權及被
選舉權ヲ有セス

- 一 禁治産者及準禁治産者
- 二 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償
ヲ終ヘサル者及家資分散若ハ破
産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタル
トキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル
迄ノ者

三 剝奪公權者及停止公權者

四 禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル
トキヨリ其ノ裁判確定スルニ至
ル迄ノ者

第十二條 華族ノ戸主ハ選舉權及被選
舉權ヲ有セス

陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者及戰時
若ハ事變ニ際シ召集中ノ者又ハ官立
公立私立學校ノ學生生徒亦前項ニ同
シ

第十三條 神官神職僧侶其ノ他諸宗教
師小學校教員ハ被選舉權ヲ有セス其
ノ之ヲ罷メタル後三箇月ヲ經過セサ
ル者亦同シ
政府ノ為請負ヲ為ス者又ハ政府ノ為
請負ヲ為ス法人ノ役員ハ被選舉權ヲ
有セス

第十四條 選舉事務ニ關係アル官吏吏
員ハ其ノ選舉區内ニ於テ被選舉權ヲ
有セス其ノ之ヲ罷メタル後三箇月ヲ

經過セサル者亦同シ

第十五條 宮内官判事檢事行政裁判所
長官行政裁判所評定官會計検査官收
税官吏及警察官吏ハ被選舉權ヲ有セ
ス

第十六條 前條ノ外ノ官吏ハ其ノ職務
ニ妨ナキ限ハ議員ト相兼ヌルコトヲ
得

第十七條 府縣會議員ハ衆議院議員ト
相兼ヌルコトヲ得ス

第三章 選舉人名簿

第十八條 町村長ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ其ノ町村内ニ住所ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ選舉人名簿正副二本ヲ調製シ十月十五日迄ニ郡長ニ送付スヘシ
郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ調査シ其ノ修正スヘキモノハ修正ヲ加ヘ副本ハ十月三十一日迄ニ之ヲ町村長ニ返付スヘシ

市長ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ其ノ市内ニ住所ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ十月三十一日迄ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名、官位、職業、身分、住所、生年月、納税額及納税地等ヲ記載スヘシ

第十九條 選舉人其ノ住所ヲ有スル市町村外ニ於テ直接國税ヲ納ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ證明ヲ

得テ十月五日迄ニ其ノ住所地ノ市町村長ニ届出ツヘシ其ノ期日迄ニ届出ヲ為ササルトキハ其ノ納税ハ選舉人名簿ニ記載セラルヘキ要件ニ算入セス

第二十條 郡長市町村長ハ十一月五日ヨリ十五日間其ノ廳又ハ地方長官ノ許可ヲ得タル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ縦覽ニ供スヘシ

第二十一條 選舉人選舉人名簿ニ脱漏

又ハ誤載アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ理由書及證憑ヲ具ヘテ之ヲ郡市長ニ申立ツルコトヲ得

第二十二條 選舉人正當ノ事故ニ因リ第十九條ノ手續ヲ為スコト能ハスシテ選舉人名簿ニ登録セラレサルトキ亦前條ノ例ニ依ル

第二十三條 縦覽期限ヲ經過シタルトキハ前二條ノ申立ヲ為スコトヲ得ス
第二十四條 郡市長ニ於テ第二十一條

第二十二條ノ申立ヲ受ケタルトキハ
其ノ理由及證憑ヲ審査シ申立ヲ受ケ
タル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ決定ス
ヘシ其ノ申立ヲ正當ナリト決定シタ
ルトキハ直ニ選舉人名簿ヲ修正シ其
ノ由ヲ申立人及關係人ニ通知シ併セ
テ其ノ要領ヲ告示スヘシ其ノ申立ヲ
正當ナラスト決定シタルトキハ之ヲ
申立人ニ通知スヘシ
前項ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ

郡長ハ其ノ由ヲ本人住所地ノ町村長
ニ通知スヘシ

第二十五條 前條郡市長ノ決定ニ不服
アル申立人及關係人ハ郡市長ヲ被告
トシ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ七
日以内ニ地方裁判所ニ出訴スルコト
ヲ得
前項地方裁判所ノ判決ニ對シテハ控
訴スルコトヲ許サス但シ大審院ニ上
告スルコトヲ得

第二十六條 町村長ハ十一月二十日ヨ
リ十二月十日迄ノ間ニ其ノ管理ニ屬
スル選舉人名簿ヲ郡長ニ送付スヘシ
前項名簿ノ送付ヲ受ケタル郡長ハ之
ヲ調査シ其ノ修正スヘキモノハ修正
ヲ加ヘ十二月二十日迄ニ之ヲ町村長
ニ返付スヘシ

第二十七條 選舉人名簿ハ十二月二十
日ヲ以テ確定ス
選舉人名簿ハ次年ノ選舉人名簿確定

ノ日迄之ヲ据置クヘシ但シ確定判決
ニ依リ修正スヘキモノハ郡市長ニ於
テ直ニ之ヲ修正シ其ノ要領ヲ告示ス
ヘシ
前項ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ
郡長ハ其ノ由ヲ本人住所地ノ町村長
ニ通知シ副本ヲ修正セシムヘシ
天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ必要ア
ルトキハ更ニ選舉人名簿ヲ調製スヘ
シ

前項選舉人名簿ノ調製及其ノ期日縱覽確定ニ關スル期日、期間等ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第四章 選舉投票及投票所

第二十八條 總選舉ノ期日ハ勅命ヲ以テ之ヲ定メ少クトモ三十日前ニ之ヲ公布ス

第二十九條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ
投票ハ一人一票ニ限ル

第三十條 投票所ハ市役所、町村役場又ハ地方長官ノ許可ヲ得テ投票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ク

第三十一條 投票管理者ハ選舉ノ期日より少クトモ五日前ニ投票所ヲ其ノ投票區内ニ告示スヘシ

第三十二條 郡市長ハ各投票區内ニ於ケル選舉人中ヨリ三名以上五名以下ノ投票立會人ヲ選任シ選舉ノ期日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ本人ニ通知

シ選舉ノ當日投票所ニ參會セシムヘシ

投票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第三十三條 投票所ハ午前七時ニ開キ午後六時ニ閉ツ

第三十四條 選舉人ハ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票簿ニ捺印シ投票スヘシ
投票管理者ハ投票ヲ為サムトスル選

舉人ノ本人ナルヤ否ヲ確認スルコト能ハサルトキハ其ノ本人ナル旨ヲ宣言セシムヘシ其ノ宣言ヲ為ササル者ハ投票ヲ為スコトヲ得ス

第三十五條 投票用紙ハ選舉ノ當日投票所ニ於テ之ヲ選舉人ニ交付スヘシ
第三十六條 選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ
投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載ス

ルコトヲ得ス

第三十七條 選舉人名簿ニ登録セラレサル者ハ投票スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登録セラルヘキ確定判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所ニ到ル者アルトキハ投票管理者ハ之ヲシテ投票セシムヘシ

第三十八條 選舉人名簿ニ登録セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ投票ヲ為スコトヲ得ス

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者亦前項ニ同シ

第三十九條 投票ノ拒否ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票管理者之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ヲ受ケタル町村ノ選舉人不服アルトキハ投票管理者ハ假ニ投票ヲ為サシムヘシ

前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ

記載シ投函セシムヘシ

第一項ニ掲クル者ニ於テ異議アル町
村ノ選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同シ
第四十條 投票所ヲ閉ツヘキ時刻ニ至
リタルトキハ投票管理者ハ其ノ由ヲ
告ケテ投票所ノ入口ヲ鎖シ投票所ニ
在ル選舉人ノ投票結了スルヲ待テ投
票函ヲ閉鎖スヘシ

投票函閉鎖後ハ投票スルコトヲ得ス
第四十一條 投票管理者ハ投票録ヲ作

リ投票ニ關スル顛末ヲ記載シ投票立
會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

第四十二條 町村ニ於テハ投票管理者
ハ一名又ハ數名ノ立會人ト共ニ投票
ノ翌日迄ニ投票函、投票録及選舉人名
簿ヲ開票管理者ニ送致スヘシ

第四十三條 島嶼其ノ他交通不便ノ地
ニシテ前條ノ期日ニ投票函ヲ送致ス
ルコト能ハサル情況アルトキハ地方
長官ハ適宜ニ其ノ投票ノ期日ヲ定メ

開票ノ期日迄ニ其ノ投票函、投票録及
選舉人名簿ヲ送致セシムルコトヲ得
第四十四條 天災其ノ他避クヘカラサ
ル事故ニ因リ投票ヲ行フコトヲ得サ
ルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要ア
ルトキハ投票管理者ハ選舉長ニ其ノ
由ヲ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ選
舉長ハ更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシ
ムヘシ但シ其ノ期日ハ少クトモ五日
前ニ投票区内ニ告示セシムヘシ

第四十五條 同一選舉區ニ於テ同時ニ
二人以上ノ議負ヲ選舉スルトキハ選
舉ノ種類如何ニ拘ラス第二十九條及
第三十六條ノ例ニ依ル

第四十六條 何人ト雖選舉人ノ投票シ
タル被選舉人ノ氏名ヲ陳述スルノ義
務ナシ

第五章 投票所取締

第四十七條 投票管理者ハ投票所ノ秩
序ヲ保持シ必要ナル場合ニ於テハ警

察官吏ノ處分ヲ請求スルコトヲ得
第四十八條 選舉人投票所ノ事務ニ從
事スル者投票所ヲ監視スル職權ヲ有
スル者及警察官吏ノ外投票所ニ入ル
コトヲ得ス

第四十九條 投票所ニ於テ演說討論ヲ
為シ若ハ喧騒ニ涉リ又ハ投票ニ關シ
協議若ハ勸誘ヲ為シ其ノ他投票所ノ
秩序ヲ紊ル者アルトキハ投票管理者
ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之

ヲ投票所外ニ退出セシムヘシ

第五十條 前條ニ依リ投票所外ニ退出
セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票
ヲ為スコトヲ得但シ投票所閉鎖後ハ
此ノ限ニ在ラス

第六章 開票及開票所

第五十一條 開票所ハ郡市役所又ハ地
方長官ノ許可ヲ得テ開票管理者ノ指
定シタル場所ニ之ヲ設ク

第五十二條 開票管理者ハ豫メ開票所

ヲ告示スヘシ

第五十三條 地方長官ハ各開票区内ニ於ケル選舉人中ヨリ三名以上七名以下ノ開票立會人ヲ選任シ開票ニ立會ハシムヘシ但シ市ニ於テハ投票立會人ヲ以テ開票立會人トス

開票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第五十四條 開票管理者ハ郡ハ於テハ投票函ノ總テ到達シタル翌日市ニ於

テハ投票ノ翌日開票立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ

第五十五條 前條ノ計算終リタルトキハ開票管理者ハ先ツ第三十九條第二項及第四項ノ投票ヲ調査シ開票立會人ノ意見ヲ聽キ其ノ受理如何ヲ決定スヘシ

開票管理者ハ各投票所ノ投票ヲ混同シ開票立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘ

シ

第五十六條 選舉人ハ其ノ開票所ニ就
キ開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條 投票ノ効力ハ開票立會人
ノ意見ヲ聽キ開票管理者之ヲ決定ス
ヘシ

第五十八條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス
一 成規ノ用紙ヲ用井サルモノ
二 一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ
記載シタルモノ

三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難
キモノ

四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シ
タルモノ

五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載
シタルモノ但シ官位職業身分住
所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモ
ノハ此ノ限ニ在ラス

第五十九條 投票ハ有効無効ヲ區別シ
議員ノ任期間開票管理者ニ於テ之ヲ

保存スヘシ

第六十條 開票管理者ハ開票録ヲ作り開票ニ関スル顛末ヲ記載シ開票立會人ト共ニ署名シ投票録ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第六十一條 投票ノ點檢終リタルトキハ開票管理者ハ直ニ其ノ結果ヲ選舉長ニ報告スヘシ

第六十二條 第四十四條ノ規定ハ但書ヲ除キ開票ニ之ヲ準用ス

第六十三條 開票所ノ取締ニ付テハ第五章ノ規定ヲ準用ス

第七章 選舉會

第六十四條 選舉會ハ選舉長ノ指定シタル場所及日時ニ於テ之ヲ開キ第六十一條ノ報告書ヲ調査ス

選舉ノ一部無効トナリ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テ第六十一條ノ報告ヲ受ケタルトキハ選舉長ハ選舉會ヲ開キ他ノ開票管理者ノ報告書ト共ニ

更ニ之ヲ調査スヘシ

第六十五條 選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第六十六條 選舉長ハ各選舉區内ノ選舉人中ヨリ三名以上七名以下ノ選舉立會人ヲ選任シ選舉會開會ノ期日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉會ノ當日選舉會ニ參會セシムヘシ

選舉立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其

ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第六十七條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ選舉立會人ト共ニ署名シ第六十一條ノ報告書ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第六十八條 選舉人ハ其ノ選舉會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第六十九條 選舉會場ノ取締ニ付テハ第五章ノ規定ヲ準用ス

第八章 當選人

第七十條 有効投票ノ最多数ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス但シ其ノ選舉區内ノ議員定數ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ當選人ニシテ當選證書付與前ニ於テ其ノ當選ヲ辭シ若ハ死亡シタルトキ又ハ當選證書付與ノ前後ヲ問

ハス選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効トナリタルトキ又ハ被選舉權ヲ有セサル為當選無効トナリタルトキハ前項ノ得票者ニシテ當選人ト為ラサリシ者ノ中ニ就キ得票ノ順位ニ依リ之ヲ補充ス前項ノ場合ヲ除クノ外選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ結果ニ依リ必要ナルトキハ本條ノ例ニ依リ更ニ當選人ヲ定ム第七章ノ規定ハ前二項ノ場合ニ於テ

モ亦之ヲ適用ス

本條ニ依リ當選人ヲ定ムルニ當リ得
票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取り同
年月ナルトキハ抽籤シテ其ノ順位ヲ
定ム

第七十一條 當選人定マリタルトキハ
選舉長ハ直ニ之ヲ當選人ニ告知スヘ
シ

第七十二條 當選人當選ノ告知ヲ受ケ
タルトキハ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否

ヲ選舉
一人ニシ
ルコトヲ得
區ノ當選ヲ承諾ス

第七十三條 當選人當選ノ告知ヲ受ケ
タル日ヨリ二日以内ニ當選承諾ノ
届出ヲ為ササ
トキハ其ノ當選ヲ辭
シタルモノト看做ス

第七十四條 當選人ナキトキハ地方長
官ハ選舉ノ期日ヲ定メ豫メ之ヲ告示
シ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ

モ亦之ヲ適用ス

本條ニ依リ當選人ヲ定ムルニ當リ得
票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取り同
年月ナルトキハ抽籤シテ其ノ順位ヲ
定ム

第七十一條 當選人定マリタルトキハ
選舉長ハ直ニ之ヲ當選人ニ告知スヘ
シ

第七十二條 當選人告知ヲ受ケ
タルトキハ選舉ヲ承諾スルヤ否



ヲ選舉長ニ届出ツヘシ
一人ニシテ數選舉區ノ當選ヲ承諾ス
ルコトヲ得ス

第七十三條 當選人當選ノ告知ヲ受ケ
タル日ヨリ二十日以内ニ當選承諾ノ
届出ヲ為ササルトキハ其ノ當選ヲ辭
シタルモノト看做ス

第七十四條 當選人ナキトキハ地方長
官ハ選舉ノ期日ヲ定メ豫メ之ヲ告示
シ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ

當選人議負ノ定數ニ達セサルトキハ
地方長官ハ前項ノ例ニ依リ其ノ不足
ノ員數ニ對シ選舉ヲ行ハシムヘシ
第七十條第二項及第三項ノ場合ニ於
テ當選人ナキトキ亦前二項ニ同シ
第八十條及第八十二條ノ出訴期間ハ
本條ノ選舉ヲ行フコトヲ得ス其ノ出
訴アリタルトキ裁判確定スルニ至ル
迄ノ間亦同シ

第七十五條 當選人當選ヲ承諾シタル

トキハ地方長官ハ直ニ當選證書ヲ付
與シ其ノ氏名ヲ管内ニ告示シ且之ヲ
内務大臣ニ報告スヘシ

第七十六條 選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ
判決ニ依リ選舉若ハ當選無効トナリ
タルトキ又ハ當選證書ヲ付與シタル
後選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラ
レタル結果當選無効トナリタルトキ
ハ地方長官ハ其ノ當選證書ヲ取消シ
之ヲ管内ニ告示スヘシ

第九章 議員ノ任期及補闕選舉

第七十七條 議員ノ任期ハ總選舉ノ期日ヨリ四箇年トス但シ議會開會中ニ任期終ルモ閉會ニ至ル迄在任ス

第七十八條 選舉ノ日ヨリ一箇年以内ニ議員ノ闕員ヲ生シタルトキハ第七十條ノ例ニ依ル

前項ノ場合ニ於テ當選人ナキトキ又ハ選舉ノ日ヨリ一箇年以後ニ議員ノ闕員ヲ生シタルトキハ地方長官ハ内

務大臣ノ命ニ依リ其ノ命ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ
前項ノ補闕選舉ノ期日ハ地方長官豫メ之ヲ告示スヘシ

第七十九條 補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第十章 選舉訴訟及當選訴訟

第八十條 選舉ノ効力ニ關シ異議アル選舉人ハ選舉長ヲ被告トシ選舉ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スル

コトヲ得

前項控訴院ノ判決ニ不服アル者ハ大
審院ニ上告スルコトヲ得

第八十一條 選舉ノ規定ニ違背スルコ
トアルトキハ當選ノ結果ニ異動ヲ及
ホスノ虞アル場合ニ限リ裁判所ハ其
ノ選舉ノ全部若ハ一部ノ無効ヲ判決
スヘシ

當選訴訟ニ於テモ其ノ選舉前項ノ場
合ニ該當スルトキハ裁判所ハ其ノ全

部若ハ一部ノ無効ヲ判決スヘシ

第八十二條 當選ヲ失ヒタル者當選ノ
効力ニ關シ異議アルトキハ當選人ヲ
被告トシ第七十五條ノ氏名告示ノ日
ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スル
コトヲ得但シ第七十條第一項但書ニ
定メタル得票ニ達シタリトノ理由ニ
由リ出訴スル場合ニ於テハ選舉長ヲ
被告トシ第七十四條ノ告示ノ日ヨリ
三十日以内ニ出訴スヘシ

前項控訴院ノ判決ニ不服アル者ハ大
審院ニ上告スルコトヲ得

第八十三條 裁判所ハ選舉訴訟若ハ當
選訴訟ヲ裁判スルニ當リ檢事ヲシテ
口頭辯論ニ立會ハシムヘシ

第八十四條 裁判所ニ於テ選舉訴訟若
ハ當選訴訟ヲ判決シタルトキハ其ノ
判決書ノ謄本ヲ内務大臣ニ送付スヘ
シ若帝國議會開會中ナルトキハ併セ
テ之ヲ衆議院議長ニ送付スヘシ

第八十五條 原告人ハ訴狀ヲ提出スル
ト同時ニ保證金トシテ三百圓又ハ之
ニ相當スル額面ノ公債證書ヲ供託ス
ヘシ

原告人敗訴ノ場合ニ於テ裁判確定ノ
日ヨリ七日以内ニ裁判費用ヲ完納セ
サルトキハ保證金ヲ以テ之ニ充當シ
仍足ラサルトキハ之ヲ追徴ス

第十一章 罰則

第八十六條 詐偽ノ方法ヲ以テ選舉人

名簿ニ登録セラレタル者又ハ第三十
四條第二項ノ場合ニ於テ虚偽ノ宣言
ヲ為シタル者ハ十圓以上五十圓以下
ノ罰金ニ處ス

第八十七條 選舉ノ前後ヲ問ハス左ノ
各號ニ該當スル所為アル者ハ一月以
上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓
以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢
物品手形其ノ他ノ利益若ハ公私

ノ職務ヲ選舉人又ハ選舉運動者
ニ供與シ又ハ供與セムコトヲ申
込ミタル者又ハ供與若ハ申込ヲ
承諾セムコトヲ周旋勧誘シタル
者竝供與ヲ受ケ若ハ申込ヲ承諾
シタル者

二 選舉ニ關シ酒食遊覽等其ノ方法
及名義ノ何タルヲ問ハス人ヲ饗
應接待シ又ハ饗應接待ヲ受ケタ
ル者又ハ選舉會場開票所若ハ投

票所ニ往復スル為船車馬ノ類ヲ
供給シ及其ノ供給ヲ受ケタル者
又ハ旅費若ハ休泊料ノ類ヲ代辦
シ及其ノ代辦ヲ受ケタル者竝此
等ノ約束ヲ為シ又ハ約束ヲ受ケ
タル者

三 選舉ニ關シ選舉人又ハ其ノ關係
アル社寺學校會社組合市町村等
ニ對スル用水小作債權寄附其ノ
他利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ

誘導シタル者及其ノ誘導ニ應シ
タル者

前項ノ場合ニ於テ其ノ收受シタル物
件ハ之ヲ沒收シ既ニ費用シタルモノ
ハ其ノ價ヲ追徵ス

第八十八條 左ノ各號ニ該當スル者ハ
二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五
圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス
一 選舉ニ關シ選舉人ニ暴行脅迫ヲ
加ヘ若ハ之ヲ拐引シタル者

二 選舉人ニ對シ往來ノ便ヲ妨ケ又ハ詐偽ノ手段ヲ以テ選舉權ノ行使ヲ妨害シ若ハ投票ヲ為サシメタル者

三 選舉ニ關シ選舉人又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權其ノ他利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ威逼シタル者

第八十九條 選舉事務ニ關係アル官吏

吏員、立會人及監視者選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其ノ表示シタル事實虛偽ナルトキ亦同シ

第九十條 投票所又ハ開票所ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選舉人ノ投票ニ關涉シ又ハ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者ハ一月以上一年

以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
法令ノ規定ニ依ラスシテ投票函ヲ開キ又ハ投票函中ノ投票ヲ取出シタル者ノ罰亦前項ニ同シ

第九十一條 投票管理者開票管理者選舉長立會人若ハ選舉監視者ニ暴行ヲ加ヘ又ハ選舉會場開票所若ハ投票所ヲ騷擾シ又ハ投票投票函其ノ他關係書類ヲ抑留毀壞奪取シタル者ハ四月

以上四年以下ノ輕禁錮ニ處ス

多衆ヲ嘯聚シテ前項ノ罪ヲ犯シタル者ハ輕禁獄ニ處ス其ノ情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ハ一月以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第九十二條 選舉人議員候補者若ハ選舉運動者ヲ脅迫シ又ハ選舉會場開票所投票所ヲ騷擾シ又ハ投票投票函其ノ他關係書類ヲ抑留毀壞奪取スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタル者ハ六

月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處ス其ノ
情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者
ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處
ス

犯罪者第九十三條ノ物件ヲ攜帶シタ
ルトキハ各本刑ニ一等ヲ加フ

第九十三條 選舉人、議員候補者及選舉
運動者ニシテ選舉ニ關シ銃砲、槍戟、刀
劍、竹槍、棍棒其ノ他人ヲ殺傷スルニ足
ルヘキ物件ヲ攜帶シタル者ハ二年以

下ノ輕禁錮又ハ五圓以上二百圓以下
ノ罰金ニ處ス

警察官吏又ハ憲兵ハ必要ト認ムル場
合ニ於テ前項ノ物件ヲ領置スルコト
ヲ得

第九十四條 前條記載ノ物件ヲ攜帶シ
テ選舉會場開票所若ハ投票所ニ入り
タル者ハ前條ノ例ニ依リ一等ヲ加フ
第九十五條 選舉ニ關シ氣勢ヲ張ルノ
目的ヲ以テ多衆集合シ若ハ隊伍ヲ組

ミテ往來シ又ハ煙火、篝火、松明ノ類ヲ
用井若ハ鐘鼓、法螺、喇叭ノ類ヲ鳴ラシ
旗幟其ノ他ノ標章ヲ用ウル等ノ所為
ヲ為シ警察官吏ノ制止ヲ受クルモ仍
其ノ命ニ從ハサル者ハ十五日以上六
月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上
百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十六條 第八十九條乃至第九十五
條ノ所為ヲ為サシムルノ目的ヲ以テ
演説又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他

何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス人ヲ
教唆シタル者ハ其ノ各條ニ依リ處斷
ス但シ新聞紙、雜誌ニ在リテハ仍其ノ
署名シタル編輯人ヲ處斷ス

第九十七條 當選ヲ妨クルノ目的ヲ以
テ演説又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ
他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス議
員候補者ニ關シ虚偽ノ事項ヲ公ニシ
タル者ハ六月以下ノ輕禁錮ニ處シ五
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス新聞紙、雜誌

ニ在リテハ前條但書ノ例ニ依ル

第九十八條 選舉人タルコトヲ得サル者ニシテ投票ヲ為シタル者及氏名ヲ詐稱シテ投票ヲ為シタル者ハ一月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九十九條 立會人正當ノ事故ナクシテ本法ニ定メタル義務ヲ缺クトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百條 第九十二條第二項第九十三條

及第九十四條ノ罪ヲ犯シタル場合ニ

於テハ其ノ携帶シタル物件ヲ沒收ス

第一百一條 當選人其ノ選舉ニ關シ選舉

ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタ

ルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第一百二條 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑

ニ處セラレタル者ハ裁判所ノ宣告ヲ

以テ刑期後仍二年以上八年以下選舉

人及被選舉人タルコトヲ禁ス

第一百三條 本法ニ依リ處罰スヘキ犯罪

ハ六箇月ヲ以テ時効ニ罹ル

第十二章 補則

第百四條 選舉ニ關スル費用ニ付テハ
勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百五條 選舉ニ關スル訴訟ニ付テハ
裁判所ハ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ラス速
ニ其ノ裁判ヲ為スヘシ

第百六條 町村制ヲ施行セサル地ニ於
テハ本法ニ規定シタル町村長ノ職務
ハ戸長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ掌ル

島司ヲ置ケル島嶼ニ於テハ本法ニ規
定シタル郡長ノ職務ハ島司之ヲ掌リ
其ノ島司ナキモノニ於テハ郡長ニ準
スヘキ者之ヲ掌ル

東京市京都市大阪市ニ於テハ本法中
市トアルハ區市長トアルハ區長市役
所トアルハ區役所ニ該當ス

第百七條 立會人指定ノ時刻ニ至リ參
會セサルトキ又ハ參會シタルモ中途
ヨリ定數ヲ缺キタルトキハ投票管理

者開票管理者選舉長ハ臨時ニ選舉人
ノ中ヨリ立會人ヲ選任スヘシ

第百八條 選舉人名簿ニ関スル訴訟選
舉訴訟及當選訴訟ニ付テハ本法ニ規
定シタルモノヲ除クノ外總テ民事訴
訟ノ例ニ依ル

第百九條 本法ニ於ケル直接國税ノ種
類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百十條 北海道及沖繩縣ニ於テ本法
ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅

令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ
得

第十三章 附則

第百十一條 本法ハ次ノ總選舉ヨリ之
ヲ施行ス但シ北海道札幌區函館區沖
繩縣ニ付テハ勅令ヲ以テ別ニ施行ノ
期日ヲ定ム

第百十二條 本法ニ依リ初テ議員ヲ選
舉スルニ付必要ナル選舉人名簿ノ調
製ニ限リ第十八條乃至第二十條第二

十四條第二十六條第二十七條ノ期日
及期間ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムル
コトヲ得但シ其ノ選舉人名簿ハ次年
ノ選舉人名簿確定ノ日迄其ノ効力ヲ
有ス

別表

東京府							
東京市		郡	京都府	京都市	大阪府	堺市	郡
部		伊豆七島トモ					部
十一人		五人	三人	五人	六人	一人	六人

神奈川縣

橫濱市

郡部

兵庫縣

神戶市

姫路市

郡部

長崎縣

長崎市

郡部

對馬

新潟縣

新潟市

郡部

埼玉縣

群馬縣

前橋市

郡部

千葉縣

茨城縣

一人

一人

十三人

九人

一人

六人

十人

一人

六人

二人

一人

十一人

一人

六人

水戸市

郡部

栃木縣

宇都宮市

郡部

奈良縣

奈良市

郡部

三重縣

津市

一人

九人

一人

六人

一人

四人

一人

四日市市

郡部

愛知縣

名古屋市

郡部

静岡縣

静岡市

郡部

山梨縣

甲府市

七人

二人

十一人

一人

九人

一人

滋賀郡部

四人

大津市

郡部

五人

岐阜縣

岐阜市

郡部

七人

長野縣

長野市

郡部

九人

宮城縣

仙臺市

郡部

一人

福島縣

巖手縣

盛岡市

郡部

五人

青森縣

弘前市

青森市

四人

郡部

山形縣

山形市

米澤市

郡部

秋田縣

福井縣

福井市

郡部

石川縣

金澤市

富山縣

富山市

高岡市

郡部

鳥取縣

島根縣

松江市

郡部

内

附

一人

一人

一人

六人

六人

一人

四人

五人

一人

一人

五人

三人

一人

五人

内

附

隱岐

一人

岡山縣

岡山市

一人

郡部

八人

廣島縣

廣島市

一人

尾道市

郡部

十人

山口縣

赤間關市

一人

郡部

七人

和歌山縣

和歌山市

一人

郡部

五人

德島縣

德島市

一人

郡部

五人

香川縣

高松市

一人

丸龜市

五人

郡部

愛媛縣

松山市

郡部

高知縣

高知市

郡部

福岡縣

福岡市

久留米市

一人

七人

一人

一人

五人

一人

一人

門司市

郡部

大分縣

佐賀縣

佐賀市

郡部

熊本縣

熊本市

郡部

宮崎縣

十人

六人

一人

五人

一人

八人

四人

鹿兒島縣

鹿兒島市

郡部

大島

北海道廳

札幌區

函館區

小樽區

札幌、小樽、岩内、増毛、宗谷、上川、空知、室蘭、浦河、各支廳管内、函館、松前、檜山、壽都、各支廳管内

一人

七人

一人

一人

一人

一人

一人

一人

根室、釧路、河西、網走、各支廳管内

一人

根室支廳管内、千島、屬スル諸郡ヲ除ク

沖繩縣

那覇區

首里區

島尻郡

中頭郡

國頭郡

二人

